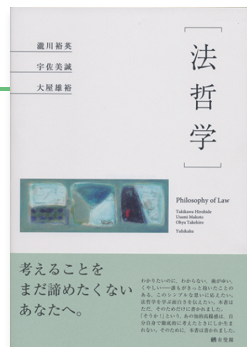


法哲学

龍川裕英 = 宇佐美 誠 = 大屋雄裕

2014 年 12 月刊 / 416 頁 / 本体 2800 円 + 税

A5 判 / 並製



編集
担当者
から

本書は、初めて法哲学を学ぶ方に向けて書かれた教科書です。「法哲学」——なんだか抽象的で難解そう…、実際役に立つの？ そんなふう感じておられる方も多いのではないのでしょうか。でも振り返ると、法学をある程度学んだときにふと出会うのは、「結局、『自由』って何だろう」「本当にそれは『正義』なの？」「自分のやっていることは、はたして『解釈』なんだろうか」——そんな不安にも似た、そして容易に出口の見えない問いかもしれません。本書は、そうした古典的なテーマから現代的な問題までを、多くの具体例を用い、丁寧に解きほぐしていきます。抽象的な概念も身近な例に引き直すことで、その真の意味が重量を持って迫ってきます。読者の皆さんは、本書を読んで「わかった!」と思ってもそこでやめずに、ぜひ、今度は自分自身で具体例を挙げることに挑戦してみてください。そうすることで、自分の理解を確認できますよ。

古から続く問いだからこそ、実際、たったひとつの答えなど見つからないかもしれない。でも確実に何かが違ってくる。3人の著者と一緒に、徹底的に悩み、考えてみませんか。(O+I)

Point!

P

豊富な小見出しが滑らかに道案内。「あと小見出しもうひとつ分だけ…」読みたくなります。

